

連合「なんでも労働相談ダイヤル」 ☎ 0120-154-052  
2018年7月 相談集計報告

## ○全体の特徴

- 全体として、968件の相談が寄せられた。特徴として、年代別では20代(103件・13.2%)・50代(193件・24.7%)、雇用形態別ではパート社員(181件・19.8%)・派遣社員(65件・7.1%)からの相談が、前年同月と比べて件数・割合ともに増加したことがあげられる。
- 相談内容別では、「パワハラ・嫌がらせ」(187件・19.3%)が5ヵ月連続で最も多くなり、「退職金・退職手続」(88件・9.1%)とともに、前年同月と比べて件数・割合ともに増加していることが目立った。
- 具体的な相談では、「社長から『売り上げのない人間はいらない』『古い人間はできが悪い』と言われるなどパワハラにあっている(事務職・50代)」「業務多忙のせいで精神的に参っている。上司に退職の相談をしたところ、後任の確保ができない場合は損害賠償請求をする可能性があると言われた」などが寄せられた。

		2018年			2017年		
集計対象期間		7月1日～7月31日			7月1日～7月31日		
受付件数(受付件数のみ報告分含)		968			1,047		
報告(本部・地方)数		48			48		
項目	内容	件数	割合	内容	件数	割合	
性別 (未報告除く)	男性	487	50.3%	男性	558	53.3%	
	女性	481	49.7%	女性	489	46.7%	
年代 (不明除く)	10代	1	0.1%	10代	8	1.0%	
	20代	103	13.2%	20代	90	11.2%	
	30代	152	19.5%	30代	193	24.1%	
	40代	258	33.1%	40代	260	32.4%	
	50代	193	24.7%	50代	173	21.6%	
	60代	59	7.6%	60代	65	8.1%	
	70代	14	1.8%	70代	13	1.6%	
雇用形態 (不明除く)	正社員	492	53.7%	正社員	531	54.1%	
	パート	181	19.8%	パート	152	15.5%	
	アルバイト	45	4.9%	アルバイト	60	6.1%	
	派遣社員	65	7.1%	派遣社員	64	6.5%	
	契約社員	71	7.8%	契約社員	76	7.7%	
	嘱託社員	7	0.8%	嘱託社員	11	1.1%	
	臨時・非常勤職員	6	0.7%	臨時・非常勤職員	4	0.4%	
	その他	49	5.3%	その他	83	8.5%	
業種(上位) (不明除く)	1位	医療・福祉	137	20.0%	医療・福祉	132	17.2%
	2位	サービス業(他に分類されないもの)	115	16.8%	製造業	119	15.6%
	3位	製造業	102	14.9%	サービス業(他に分類されないもの)	115	15.1%
	4位	卸売・小売業	78	11.4%	卸売・小売業	91	11.9%
	5位	運輸業	77	11.2%	運輸業	69	9.0%
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	パワハラ・嫌がらせ	187	19.3%	セクハラ・パワハラ・嫌がらせ	130	12.4%
	2位	雇用契約・就業規則	91	9.4%	解雇・退職強要・契約打切	97	9.3%
	3位	退職金・退職手続	88	9.1%	雇用契約・就業規則	79	7.6%
	4位	解雇・退職強要・契約打切	79	8.2%	不払い残業、休日手当・割増賃金	70	6.7%
	5位	年次有給休暇	37	3.8%	年次有給休暇	66	6.3%
情報源・ルート (不明除く)	新聞・雑誌	26	3.1%	新聞・雑誌	20	2.3%	
	ラジオ・テレビ	13	1.5%	ラジオ・テレビ	30	3.4%	
	ビラ・チラシ・パンフ(含折込)	99	11.8%	ビラ・チラシ・パンフ(含折込)	110	12.4%	
	ホームページ	478	56.9%	ホームページ	451	50.8%	
	SNS(フェイスブック・ツイッター)	18	2.1%	SNS(フェイスブック・ツイッター)	20	2.3%	
	紹介(労基署等)	56	6.7%	紹介(労基署等)	58	6.5%	
	その他	150	17.9%	その他	199	22.4%	

【参考】2018年7月 連合本部 インターネット労働相談受付件数 54件